

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和7年6月26日</p> <p>東京都知事 殿</p> <p style="text-align: center;">提出者 住 所 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 氏 名 株式会社日立ビルシステム 首都圏支社 常務取締役 支社長 長谷川 健一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-3525-4265</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社日立ビルシステム 首都圏支社 都内各所（八王子市を除く）
事業場の所在地	都内各現場（八王子市を除く）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	昇降設備工事業（0842）
②事業の規模	2,802億円（2023年度）
③従業員数	約8,600名（2024年3月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・廃油：油水分解→再資源化、有償売却・金属屑：破碎→再資源化・廃プラスチック：破碎→再資源化・ガラス・陶磁器：破碎→再資源化・紙屑：破碎→再資源化・木屑：破碎→再資源化・がれき類：破碎→再資源化・廃アルカリ：中和脱水→再資源化・廃酸：中和脱水→再資源化・建設混合廃棄物；破碎→再資源化

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別シート「首都圏組織図」参照願います。

(教育・研修)

廃物処理法に基づいた社内規則に沿った教育を実施。

発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、分別処理に関する留意事項を整理し、社員に対して定期的に教育を行なう。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	64.00 t	0.10 t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物処理について次に掲げる事項を実施、指導。 「発生抑制」・納入される製品・部品の梱包リサイクルまたは通い箱化を推進。 「再生利用」・交換済み部品の回収を徹底。 リサイクル部品の利用を推進。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	60.80 t	0.10 t
	(今後実施する予定の取組) ・今までの活動を継続・推進し総排出量の削減に努める。 ・分別作業の徹底実施により、有価物の増加に努め、廃棄物の削減を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分別作業を強化して、金属屑・紙屑を有価物として売却して、排出物の資源化および、排出量の削減に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別作業の必要性を継続推進する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	94.20 t	541.40 t	541.00 t	71.80 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
排出量	89.49 t	514.33 t	513.95 t	68.21 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排出量	148.30 t	8.30 t	298.20 t	702.80 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
排出量	140.89 t	7.89 t	283.29 t	667.66 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
排 出 量	14.00 t	1.30 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
排 出 量	13.30 t	1.24 t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	63.90 t	0.10 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	62.30 t	0.10 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.60 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面) - 2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	94.20 t	541.40 t	541.00 t	71.80 t
優良認定処理業者への処理委託量	94.20 t	504.70 t	88.10 t	54.90 t
再生利用業者への処理委託量	- t	36.70 t	452.90 t	16.90 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第4面) - 3

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	148.30 t	8.30 t	298.20 t	702.90 t
優良認定処理業者への処理委託量	26.20 t	0.80 t	277.00 t	290.20 t
再生利用業者への処理委託量	122.10 t	7.50 t	21.20 t	412.70 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
全処理委託量	14.00 t	1.30 t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	11.50 t	0.20 t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	2.50 t	1.10 t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	60.71 t	0.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	59.19 t	0.10 t
	再生利用業者への処理委託量	1.52 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	89.49 t	514.33 t	513.95 t	68.21 t
優良認定処理業者への処理委託量	89.49 t	479.47 t	83.70 t	52.16 t
再生利用業者への処理委託量	- t	34.87 t	430.26 t	16.06 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	紙くず	木くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	140.89 t	7.89 t	283.29 t	667.76 t
優良認定処理業者への処理委託量	24.89 t	0.76 t	263.15 t	275.69 t
再生利用業者への処理委託量	116.00 t	7.13 t	20.14 t	392.07 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	廃電池類		
全処理委託量	13.30 t	1.24 t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	10.93 t	0.19 t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	2.38 t	1.05 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 ① 首都圏支社環境推進体制図

部門長

支社長

環境推進責任者

総務課長

副責任者

兼 廃棄物管理責任者

調達部長

【事務局】

品証部員

調達部員

総務部員

財務部員

【部門責任者】

フィルトサービス部

主任技師

施設部

主任技師

改修部

主任技師

生産管理部

主任技師

営業

部長代理

銀座統括営業所	推進委員
新橋統括営業所	推進委員
大手町統括営業所	推進委員
丸の内統括営業所	推進委員
日本橋統括営業所	推進委員
品川統括営業所	推進委員
蒲田統括営業所	推進委員
赤坂統括営業所	推進委員
上野統括営業所	推進委員
錦糸町統括営業所	推進委員
亀有統括営業所	推進委員
新宿新都心統括営業所	推進委員
新宿統括営業所	推進委員
池袋統括営業所	推進委員
文京統括営業所	推進委員
渋谷統括営業所	推進委員
世田谷統括営業所	推進委員
立川統括営業所	推進委員
吉祥寺統括営業所	推進委員
新横浜統括営業所	推進委員
横浜南統括営業所	推進委員
川崎統括営業所	推進委員
横浜北統括営業所	推進委員
厚木統括営業所	推進委員
湘南統括営業所	推進委員
甲府統括営業所	推進委員
フィルトサービス部	推進委員
施設部	推進委員
改修部	推進委員
生産管理部	推進委員
営業	推進委員